

パンダに会おう ～上野動物園にも行こうシリーズ①～

右がトントンで、日本国内で繁殖に成功した1例目のパンダ。左がその父親のフェイフェイ。フェイフェイは1994年まで、トントンは2000年まで上野動物園で暮らしていたよ。



1階の左手側ヤツデの葉の展示の近くにあるよ

国立科学博物館 地球

館

1

階

1

ヨシモトコレクション
進化の頂点・野生大型獣

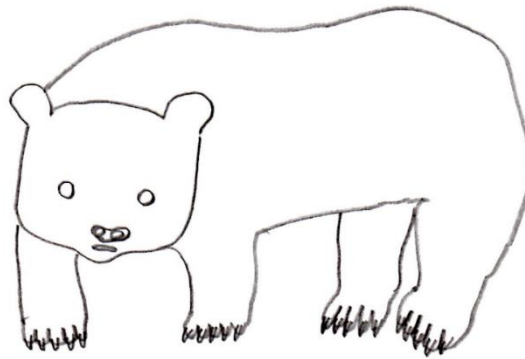


1 フェイフェイとトントンに会おう～パンダの体の白と黒～

ジャイアントパンダ・・・食肉目（ ）科



パンダのはく製を観察して、体の黒いところを塗ろう



（映像パネル）「動いている姿を見てみよう」（35秒の映像）

国立科学博物館 地球

館

1

階

24

栄養を求めて



2

ホアンホアンに会おう～パンダの指の秘密～

ジャイアントパンダには、竹をつかむための手のつくりがある



手の5本の指の他に、どのようなつくりがあるのかを右の図に書きこもう。



（映像パネル）栄養を求めて→獲物を捕まえるしくみを選択してみよう。映像の後半に、パンダが指以外のどこを使って竹をつかんでいるのかがとてもよくわかる動画があるので、見てみよう

1980年から上野動物園で飼育されていたトントンのお母さんパンダだよ。



できれば、
上野動物園へ



3

レッサーパンダの行動を観察しよう



レッサーパンダとジャイアントパンダは、名前も姿も似ていますが、進化上はそれほど近い仲間ではありません。面白いのは、両者が進化の中で別々に竹を主食とする生活に適応したことです。その結果、第6の指をもつなど、骨格には共通する似た特徴をもちます。
レッサーパンダの行動を観察して、体のつくりと生活の仕方を記録しよう。

◎ 食べ方
◎ 歩き方
◎ 体のつくり
など、視点をもって観察しよう



現在の分類では、ジャイアントパンダはクマ科、レッサーパンダはレッサーパンダ科に分類されます。つまり、「大きいパンダと小さいパンダ」という関係ではありません。



パンダの体のつくりや行動で興味深いところはどのようなことか



感じたこと

わかったこと

考えたこと



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名